



人間総合科学大学 人間科学部

ヘルスフードサイエンス学科通信

～地域・企業と追求するおいしい×ヘルシー～

2020年

9月5日号

1. HFS 学科の授業紹介シリーズ (2)

『食品生産流通学実習（視察）～JA 南彩平野梨選果場見学～』

ヘルスフードサイエンス学科教員 矢部えん

■「蓮田市といえば梨！流通の現場をリモート見学」

「食品生産流通学実習（視察）」は、食品ビジネスの現状を理解するために、食品流通についての知識を確認すると共に、食品流通の現場を訪問する授業です。

8月某日、蓮田市にある JA 南彩平野梨選果場へ見学にいきました。実は蓮田市は埼玉県内でも有数の梨生産地です。（新型コロナウイルス感染防止のため、教員が取材を行い、学生はリモートでの見学です。）取材は学科長の時光先生（←地元愛強し）& 学科長補佐の玉木先生（←梨好き）が行いました。

選果場のお仕事内容、梨の種類、おいしい梨の見分け方、県内でここにしかない機械を見せていただいたり、そしてなぜか途中で、見学者同士の梨自慢戦（栃木 VS 埼玉）が開催されたり？しました。

流通現場を目の当たりにし、改めて、「お店や通販でいつでも食品が買えること」に感謝する日となりました。



【写真1】おじゃましたのは JA 南彩平野梨選果場

さて、ここからは梨のクイズです。梨の花は何色でしょう？

A：黄色 B：白 C：ピンク

下記は突発的な梨自慢（栃木県 VS 埼玉県）で出てきた梨の情報です。埼玉の梨はどちらでしょうか？

A：「新高」×「豊水」の交配で、品種登録は1996年。

大きさはとても大きく、重さは600g以上で1kg越えのものもある。

10月中旬から11月にかけて収穫されるが、貯蔵性が高く、お正月くらいまで食べられる。

B：「新高」×「豊水」の交配で、品種登録は2005年。

大きさは大きく、重さは550g前後である。

8月下旬から9月上旬に収穫される。

クイズの答えは次回の学科通信にて発表予定です！

2. ヘルスフードで地域に貢献する！

『「おいしい！健康中食」開発ためのプロジェクトを開始』

ヘルスフードサイエンス学科学科長 時光一郎

■ 「中食を活用した家庭での「おいしい！健康食」開発による地域活性化事業」

コロナ禍の状況において、地域の飲食店は弁当や総菜等の中食部門の強化を図っており、家庭での食事作りとの組合せによるおいしい健康食の開発が大きな課題になっています。

ヘルスフードサイエンス学科では、さいたま商工会議所様と連携し、さいたま市内の飲食店様（3店舗）と協働し「おいしい！健康中食」のレシピ開発を始めることになりました。

尚、このプロジェクトは、「令和2年度大学による地域の課題解決・活性化支援事業等補助金」の交付をさいたま市よりいただくことになりました。

ヘルスフードサイエンス学科の学生が、授業で教員や飲食店の専門家のアドバイスを受けながら、個性豊かな「おいしい！健康中食」の開発を行ってくれると大いに期待されています！

更には、学生が主体となり家庭での健康食生活への貢献を目指し、調理専門家の技術、健康食材・調味料や参加飲食店の中食情報等をわかりやすく提供するサイトの構築を計画しています。

コロナ禍に打ち克つためには、ユニークな発想での新たな挑戦が不可欠です。興味のある方は、ヘルスフードサイエンス学科で是非一緒に挑戦しましょう！！



【写真2】参加和食飲食店の弁当例

【お問合せ】人間総合科学大学 事務局広報 電話：048-749-6111 メール：admin@human.ac.jp